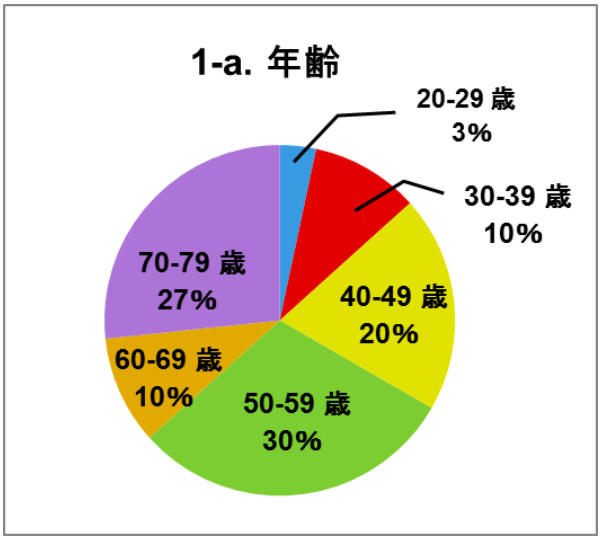
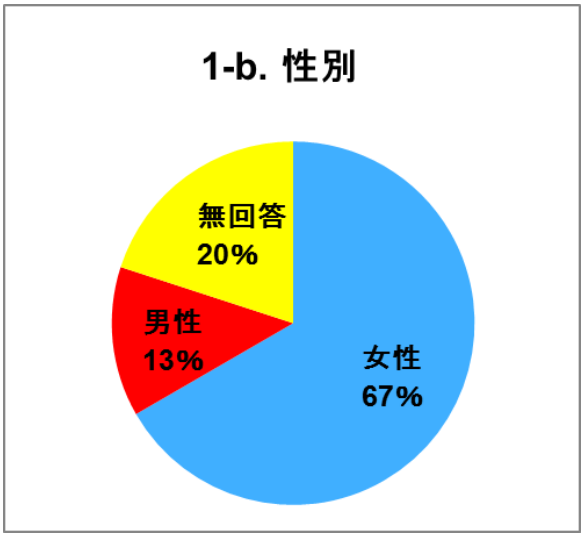
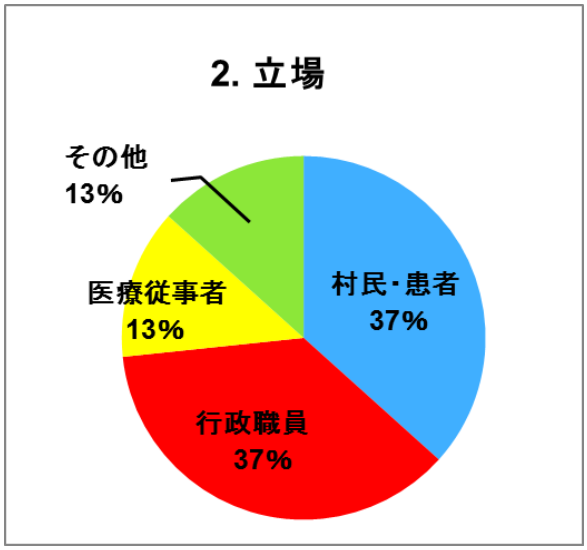
がん専門医が伝える病院・診療所の上手なかかり方

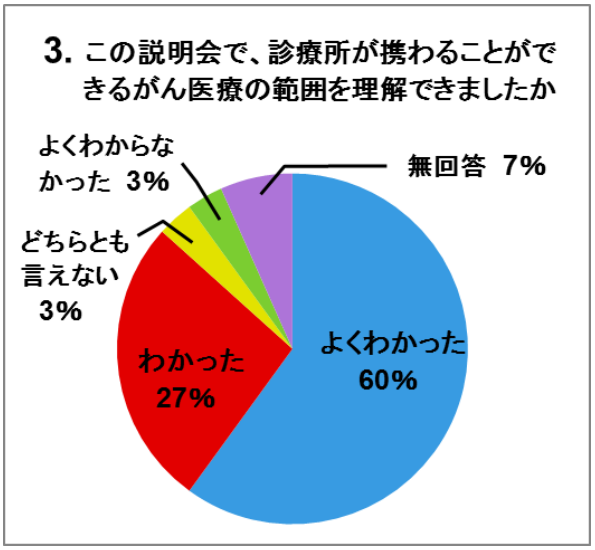
『もしも国頭村でがんになったら』アンケート結果

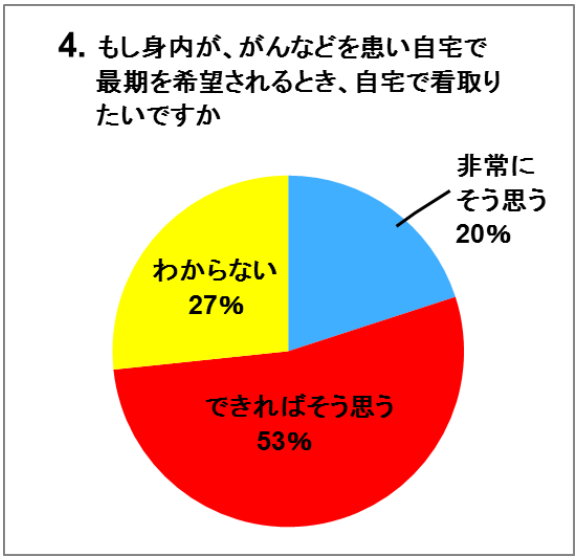
〇日時　　7月27日（金）午後7時～8時（午後6時半開場）
〇場所　　国頭村保健センター
〇対象　　国頭村にお住いのみなさん
〇参加者　44人（アンケート回収率　68．2%）



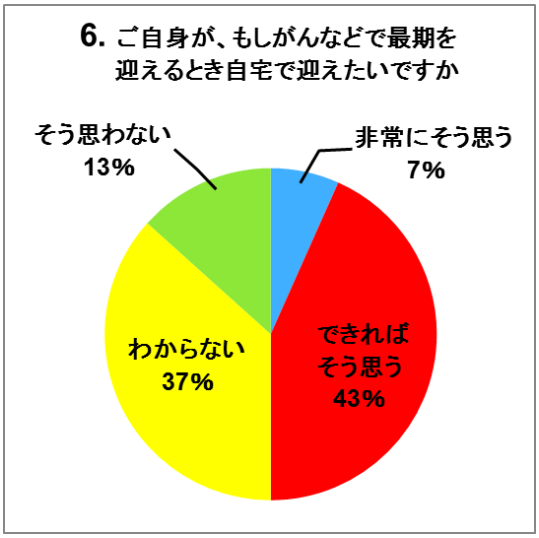






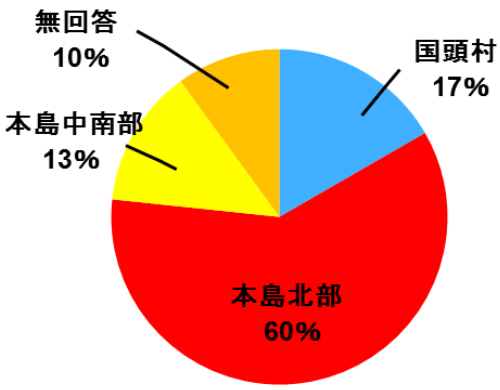


5．4の理由を教えてください。
がんの状態による。介護することに不安大。
これまで過ごして来た場所で最期を終えることが本人にとって一番だと思うから。
ずっと寄りそっていたいが、自宅だと限界があると思う。出来るかぎりの治療を全てして、看取りたい。
できることをやってあげたいから。
できればそうしてあげたい気持ちでいますが、本島の病院で出来る限りの治療もしてあげたいと思っています。
やっぱり家で静かに送りたいです。
家族で家で看取ってあげたい。
家族にめいわくをかけたくないので、自分としては働ける間は家で。
家族の同意を得る必要があるが、最後はやはり本人の意思を尊重したい。
考えたことがない。
在宅で安心して末期を迎えるための医療と連携できる看取り・看護ができる事ができればいいと思う。
住み慣れたところで最期を過ごさせたい。
状態・症状によっては病院の方が良い事もあるので。
心が落ち着ける場所で最期を迎えたいと思うから。
大切な人の思いを叶えてあげたいと思うから。
父ががんで最期は病院のベットでした。最後まで家に帰りたいと言っていた父の言葉が今でも忘れられません。もし、身内ががんになったら、できたら自宅で看取りたいと思います。
本人がそう思うのであればそうしてあげたい。自分もそうありたいと思うので。
本人の希望があれば、自宅でサポートしていきたい。
本人の希望に沿いたい。希望をかなえたい。できることは全てする。自分のためにも。
本人の希望をかなえてあげたい。

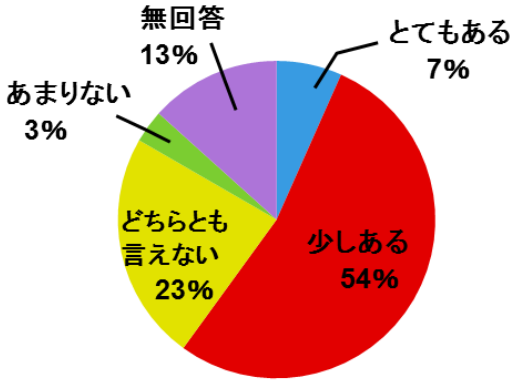


7．6の理由を教えてください。
そう思うし、最期まで家族と一緒にいたい。
その時の生活環境により決まるので。（一人生活の場合は病院になると思う。
安心して医療を受けて末期を迎えたい。
意識があるうちは自宅を希望するが、早い段階で意識がない時は病院でもいいと思う。
家や家族の元が安心
家族と一緒に最期を迎えるのが幸せです。
家族に看取られながら、住み慣れた我が家でできるだけ悔いのないやり残しがないように。
家族に負担をかけたくない。
家族に迷惑をかけるかもしれないが、大好きな人たちの待つ好きな家で死にたい。
家族に迷惑をかけると思うので、病院か施設の世話になりたい。
家族の意見を聞いてみないといけないのでわからない。
最期は家族とすごしたい。
最期は住みなれた家で家族やペットと一緒に迎えたい。心がおだやかでいられる。
子供が一人なので、自分が最期の時、子供には迷惑かけたくないと思います。できたら村で最期をむかえたいが、まわりのサポートがあるか不安です。病院受診には距離があると。（名護）
治る病気なら病院で、もしもそうじゃなければ家のほうがよい。
自宅でゆっくり療養しながら、ふだんの生活のままで。
自宅で迎えたい思いもあるが、家族に迷惑はかけたくない。
自分がこれまで過ごしてきた大切な場所で出来る事ならと思います。
自分自身はそう思うが、夫と二人の家族なので夫の負担は大きいと考えると、自分の希望通りに自宅で最期をむかえるのはむつかしい。
心が落ち着ける場所で最期を迎えたいと思うから。
痛みが来た場合など、はたして自宅で対処出来るか不安です。自分はまだ、現実がどうかわかりません。
負担はかけたくない。不安も与えたくない。
矛盾してますが、家族に迷惑をかけたくない。

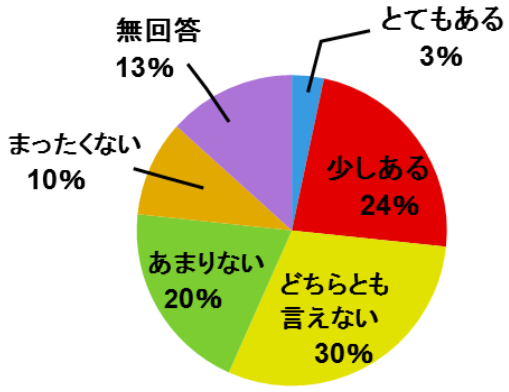
8. もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



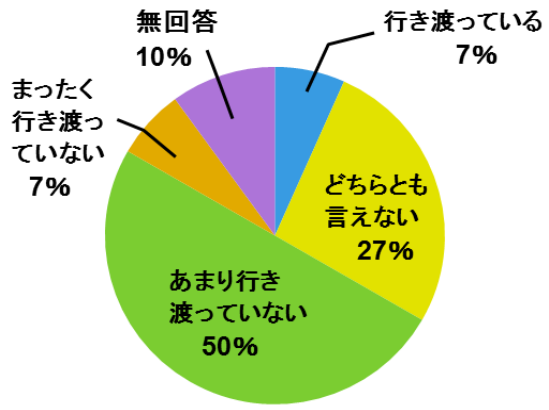
9. がんになったとき、国頭村で治療することに不安はありますか



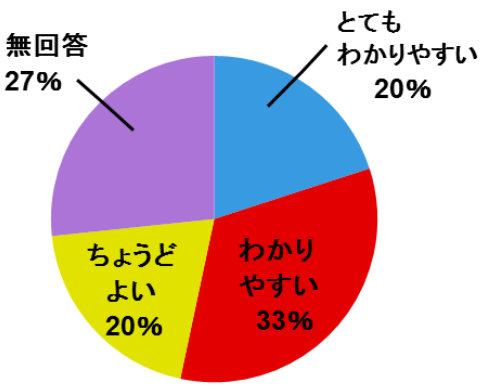
10. がんになっとき、村外で治療することに不安はありますか



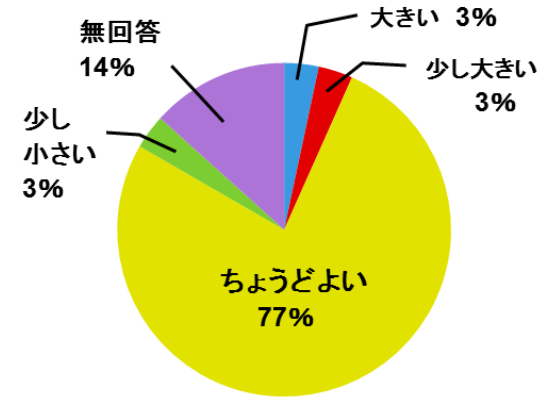
11. 国頭村では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか

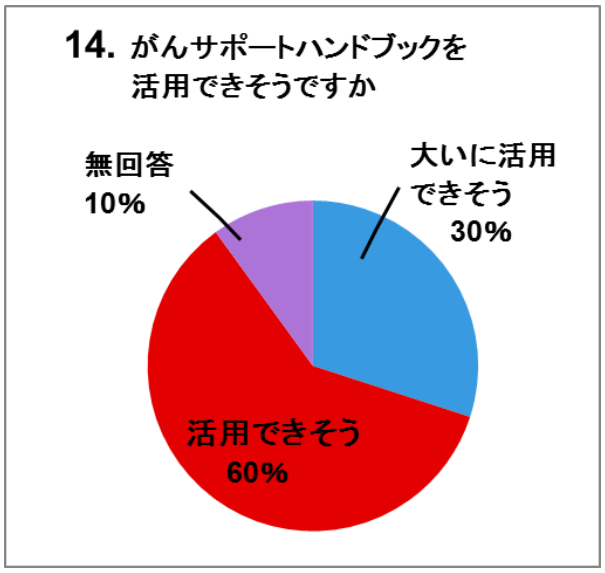


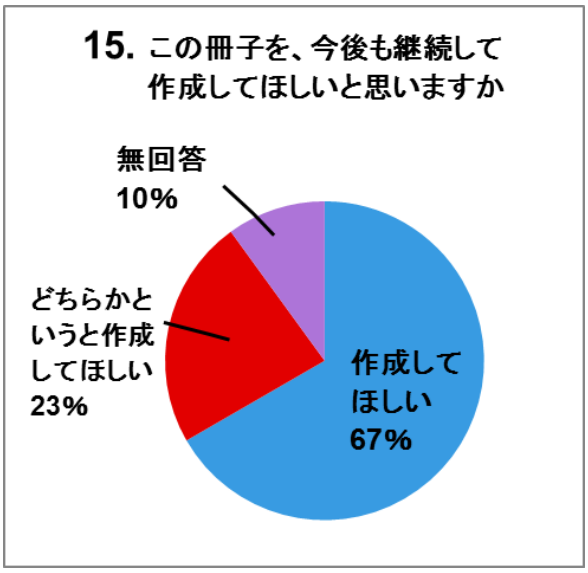
12. がんサポートハンドブックの内容についてどう思われますか

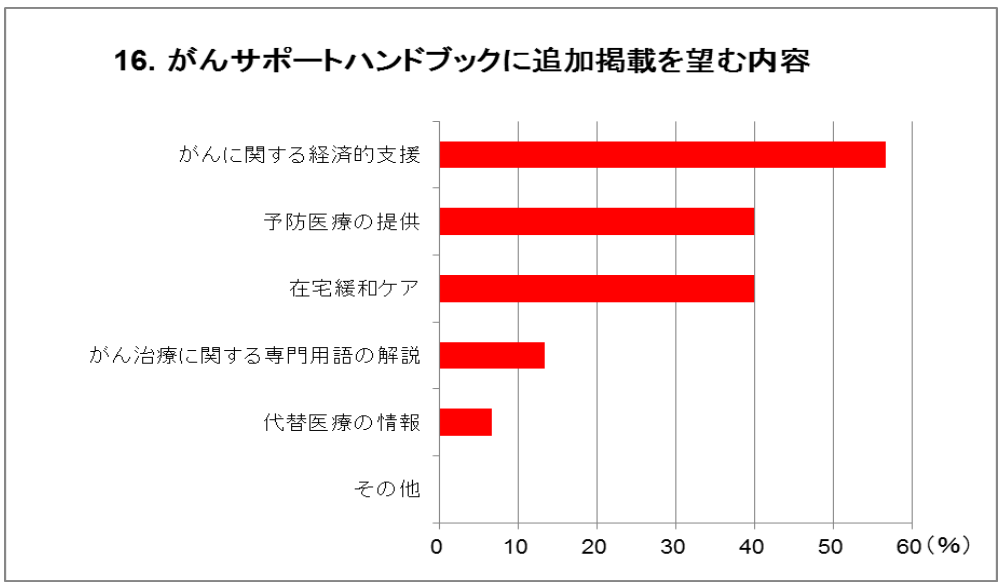


13. がんサポートハンドブックの文字の大きさ（フォントサイズ）についてどう思われますか









17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。
ありがとうございました。
がんでも使える医療費助成がないのか。
回数を重ねての説明会だとうれしいです。何回も聞きたいです。
看取りをした場合の家族の覚悟や後悔について、住民に周知していけたら。体験談はすごく勉強になりました。
具体的な例も話していただけたらよかったので、諫山先生のお母さんの話は良かったです。
説明会はとてもわかりやすく、村で看取ってもらえるのはとても心づよいです。
先生の説明はわかりやすかったです。
村敬老会においても同じ内容の講話をしてほしい。
北部で医療を受けたいが、特殊検査も北部でできるように。
本島内ではじめての講演ということで、企画をして下さったこと感謝申し上げます。